

2023

欧州投資銀行 の概略



欧州投資銀行

欧州投資銀行の概略

© 欧州投資銀行、2023年

98-100, boulevard Konrad Adenauer

L-2950 Luxembourg

+352 4379-1

info@eib.org

www.eib.org

twitter.com/eib

facebook.com/europeaninvestmentbank

youtube.com/eibtheuebank

無断複写・転載を禁じます。
権利およびライセンスに関するすべての質問は、
publications@eib.org までお寄せください。

欧州投資銀行の活動の詳細は、当行ウェブサイト
www.eib.org をご参照ください。

また、info@eib.org にご連絡いただくこともできます。当行のニュースレターは、
www.eib.org/sign-up で入手できます。

自然の力は、畏敬の念を起こさせます。歴史を通して、人々は自然が引き起こす嵐、洪水、干ばつ、噴火を恐れてきました。このような重要な時に、自らの行為が引き起こした気候変動に打ち勝つためには、むしろ自然と調和し、自然の力を利用しなければならないことに、私たちは気付いています。現在、欧州投資銀行の投資の半分以上が、気候変動対策と環境の持続可能性に向けられています。当行の優先事項は、地熱発電から水力、風力による発電まで、自然の力を利用した再生可能エネルギーへのグリーンな移行に資金を提供することです。本年の主要レポートの表紙に、この自然の力にちなんだ画像を載せているのは、まさにこの理由からです。

© 写真提供者: EIB、Egtronic、Anaconda Biomed、GettyImage、Shutterstock

発行者: 欧州投資銀行
FSC®認証用紙を使用

欧州投資銀行の概略

欧州投資銀行 (EIB) は欧州連合 (EU) の銀行です。当行は、世界最大の国際金融機関であり、気候変動対策に対する最大の資金提供者の一つです。

1958年の設立以来、EIBは欧州や世界各国のプロジェクトに1兆ユーロ超を投資してきました。気候変動対策は当行の活動全体の一部ですが、当行の活動は、気候変動と環境問題、開発、イノベーションとスキル、中小企業、インフラと結束といった優先分野に重点を置いています。

EIBグループの一部である欧州投資基金は、新規事業、成長、イノベーション、研究開発、雇用、地域開発のための資金提供を通じた中小企業支援を専門としています。

また、EIBは、他のEU機関と協力して、欧州統合とEUの発展を促進し、EUの政策を支えています。EIBの活動は欧州にとどまらず、160を超える国に広がり、EU域内および世界中で毎年何百万人もの生活を改善しています。

相互関連性は、当行の歴史でいつも中心にありました。欧州全体で、EIBの投資はEU加盟国をより緊密に結び付けています。開発金融の効果を高めるために2022年に設立されたEIBグローバルを通じ、当行はグローバルな課題への取り組みを支援し、全大陸で成長と機会を生み出しています。

多国間主義の価値が疑問視されている今、EIBの活動は欧州統合への取り組みの力を常に思い起こさせるものとなっています。



COVID-19感染の広がり、世界は健康上のそして経済的な緊急事態に直面しました。ウイルスの感染拡大を防止するワクチンや解決策を早急に見つける必要がありました。そこでEIBは、コロナワクチンの開発と生産に資金拠出する一方、ワクチン以外の医療対策にもEU域内外で多大な支援を行っています。また、EIBグループは、コロナ危機が欧州の企業や景気に及ぼす経済的影響を抑え込むためのEUの対策に大きく貢献してきました。

コロナ危機が落ち着き始めた頃、ロシアがウクライナに侵攻し、新たな世界的危機を引き起こしました。危機への国際的対応の一環として、当行は、ウクライナ政府による緊急ニーズへの対応支援のため、同国向けEIB連帯パッケージを通じて資金提供を実施しました。さらに、EIBは欧州委員会と協力して、ウクライナ政府が自国民に対して不可欠な公共サービスの提供を続けられるよう支援するために、さらなる資金提供に取り組んでいます。

国際機関としては世界最大の貸し手でもあるEIBは、経済の繁栄、雇用の創出、格差の是正、持続可能性の促進を支援しています。当行は官民のパートナーと協力し、社会にどれだけ貢献し、人々の生活を改善するかという観点から、仕事の成果を評価することとしています。

EIBの投資は、グリーンへの移行を積極的に支援しています。世界的な活動を通じ、気候変動対策を行うEUの銀行として、気候変動に関する国際条約であるパリ協定と国連の持続可能な開発目標（SDGs）のコミットメント達成に向けた支援を重ねています。気候と環境の持続可能性のために、当行は今後10年間で1兆ユーロの投資をコミットしました。

2022年の当行の活動結果

2,600億
ユーロ

EIBの活動により支援された投資

4兆9,000億
ユーロ

動員された投資総額

724億5,000
万ユーロ

EIBグループの融資

365億
ユーロ

グリーン投資

442億8,000
万ユーロ

債券での資金調達

141億1,000
万ユーロ

中小企業向け融資

187億2,000
万ユーロ

持続可能なエネルギー・
天然資源への融資

155億2,000
万ユーロ

イノベーション・デジタル化・
人的資本の強化・促進向け

530万人*

小企業が維持した雇用

* 数値は、2022年のEIBの支援や、2022年末まで仲介機関と締結された業務に基づき2021年10月～2022年9月の間に実施された欧州投資基金 (EIF) による支援の恩恵を受けた、中小企業・中堅企業に関連するもの。



2022年のEIBの融資額は651億5,000万ユーロです。
そこにはEIBグローバルの活動分108億2,000万ユーロ
も含まれます*。

2,540万人

より安全な水を飲める人

850万世帯

電力供給された世帯

1,700万人

インフラ整備の恩恵を受ける人

660万人

5Gサービスが利用可能
となった新規加入者

5億7,010万回

公共交通機関による移動
の増加

23万4,700人

洪水リスクが緩和

15,800メガ
ワット

再生可能エネルギー100%の
発電能力

310万人

一時的な収容・宿泊施設に
滞在のウクライナ避難民

1億5,040万人

コロナワクチンなど医療サー
ビス改善の恩恵を受ける人

* EIBグループのEU域外での融資総額には、EIBグローバルの他に、欧州投資基金（EIF）のEU域外でのプロジェクト、およびEIBの欧州自由貿易連合（EFTA）内でのプロジェクトが含まれます。





ウクライナ支援

欧州投資銀行は、ウクライナ政府・国民とともにあります。そして独立国家としてのウクライナを支持します。

EUと国際社会による危機への協調対応の一環として、当行は、ウクライナ政府が緊急の流動性ニーズを充足できるように、同国向けEIB連帯パッケージを通じた資金支援を動員しました。さらに、ウクライナ政府が食料、医薬品、燃料を確保し、自国民に対して不可欠な公共サービスの提供を続けられるよう、欧州委員会と協力してさらなる資金提供に取り組んでいます。また、運輸、エネルギー、都市開発、デジタルプロジェクトに対する支援も行っています。2022年には、次の2つの主要な資金提供パッケージが承認されました。

- 戦争開始直後における、緊急ニーズに対するウクライナ政府の支払いを支援するための、6億6,800万ユーロの第1次パッケージ。
- 2022年7月に署名された、破壊されたインフラの修復および重要プロジェクトの再開のための、15億9,000万ユーロの第2次パッケージ。損害を被った道路、橋、鉄道の修復を支援するため、このパッケージから10億ユーロ強が既に支払われています。

EIBインスティテュートは、EUの銀行である当行における社会文化部門であり、戦争被害を受けたウクライナ国民に250万ユーロの人道支援を提供しました。また、ウクライナの列車や鉄道路線の修復、戦争で破壊された橋の仮設橋の建設、自宅からの避難を余儀なくされた人々の医療や住居の改善のために、当行は補助金5,900万ユーロの目的外利用を支援しました。

さらに、当行はウクライナに対し、東方パートナーシップ技術援助信託基金から約1,800万ユーロの補助金を提供し、約70万人の避難民をケアする地域社会を支援しました。この基金は、オーストリア、フランス、ドイツ、ラトビア、リトアニア、ポーランド、スウェーデン、英国により拠出されています。当行は、ウクライナおよびその避難民支援のさらなる可能性を探るため、欧州のパートナーと協力し続けています。





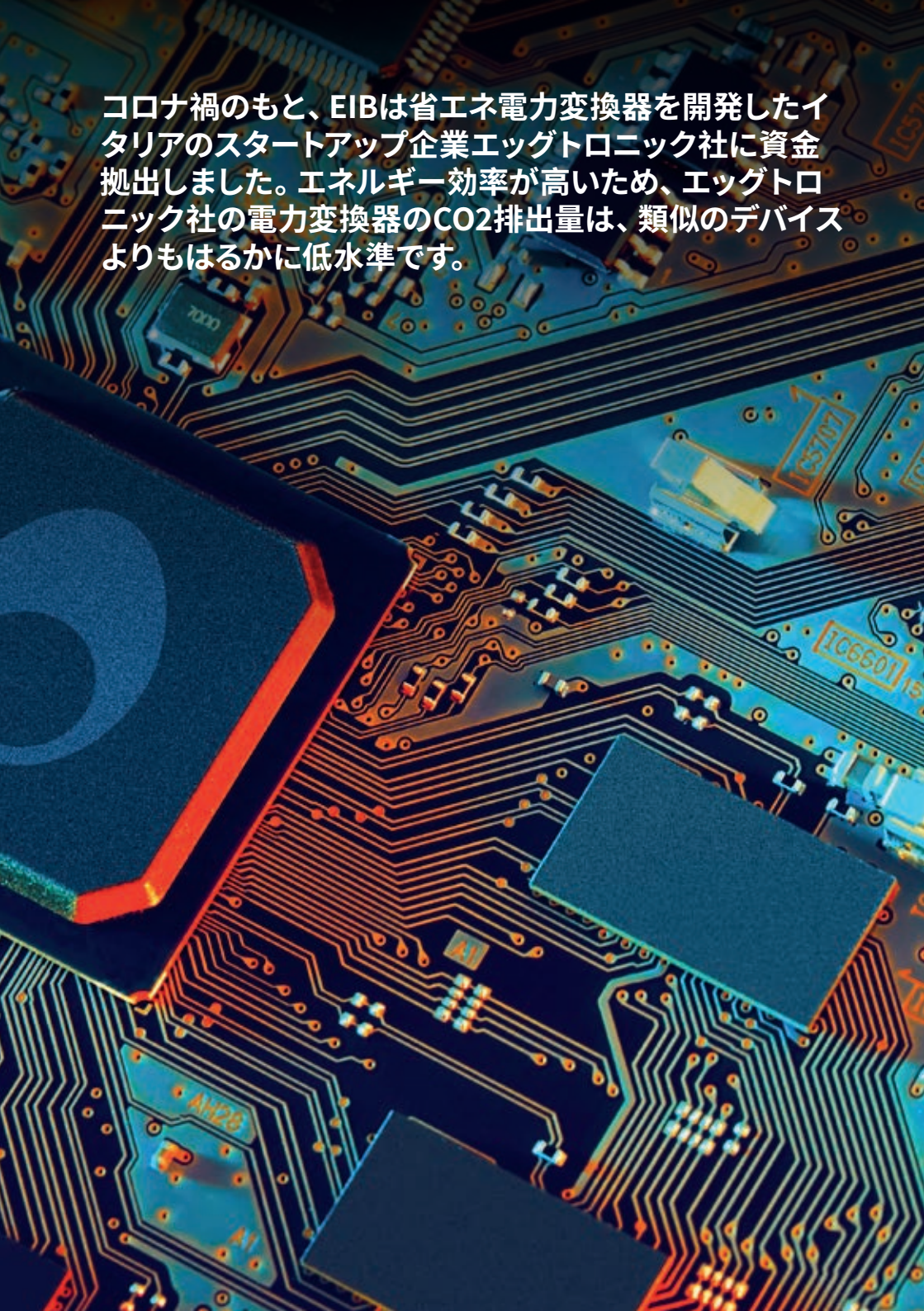
EIBは、ドイツの新興企業スピディアグ社に1,500万ユーロを融資し、医療施設で使用されるPCRベースの診断検査プラットフォームの開発に資金を提供しています。

COVID-19

EIBは、COVID-19のパンデミックに対するEUの世界的な対応の最前線に立ち、世界保健機関（WHO）や国連児童基金（UNICEF）などの国際機関と連携して、直ちに行動を起こしました。

極めて不確実な環境の中、EIBグループの緊急支援で、中小企業や革新的なスタートアップ企業が投資を行うことが可能となっています。当行は、パンデミックで苦戦する存続可能な企業を支援するため、汎欧州保証基金から2,000億ユーロの融資を動員する予定です。

EIBは、コロナワクチンの開発と購入、ウイルスの感染拡大を防止するためのソリューション、コロナ危機に関連するその他の公衆衛生プロジェクトへの資金援助も行っています。



コロナ禍のもと、EIBは省エネ電力変換器を開発したイタリアのスタートアップ企業エッグトロニック社に資金拠出しました。エネルギー効率が高いため、エッグトロニック社の電力変換器のCO2排出量は、類似のデバイスよりもはるかに低水準です。



気候変動とエネルギー問題

気候変動は、現世代にとって最大の地球規模の課題です。気候変動目標の達成可否で、子どもたちの健康と幸福が決まります。気候変動とエネルギー問題に関するEIBの目標は、欧州やその他の地域で新たな基準となっています。当行はすでに化石燃料プロジェクトの支援をやめ、2025年までに投資の50%を気候変動対策と持続可能性に振り向ける計画です。

ロシアのウクライナ侵攻は、欧州をエネルギー危機に追い込み、直ちに行動を起こす必要性が高まっています。今回の侵攻は、エネルギー供給の安全保障の重要性を再認識させるものでした。エネルギーは安全保障上の問題であり、そして脱炭素化は戦略的自律性の問題です。

EIBの活動は、グリーン成長と経済の脱炭素化をけん引します。当行は、CO2排出量の削減と欧州のエネルギー安全保障の強化を促進する、エネルギー効率性および再生可能エネルギーのプロジェクトを支援しています。当行の活動はすべて、社会と経済の持続可能な成長に貢献しています。

EIBによる投資は、脆弱なコミュニティに対する気候変動の影響にも取り組み、生物多様性を保全し、持続可能な農業を促進しています。当行は、天然資源の保護と、次世代のための安全な環境づくりに取り組んでいます。EIBが支援するプロジェクトはすべて、イノベーション、小企業支援、インフラ整備といった目的の如何を問わず、当行の気候変動目標に沿ったものでなければなりません。





EIBが支援した先駆的なスペイン企業アナコンダ・バイオメド社は、脳卒中を起こした患者の命を救い、障害を軽減できるように医師を支援する、費用対効果の高い治療法を開発しました。

イノベーション

イノベーションは欧州の競争力を保ち、付加価値の高い雇用を生み出します。このため、EIBは多岐にわたるフェーズでイノベーションを後押しし、生活水準を向上させるアイデアを支援します。

また、当行は大規模な研究開発や専門性の高い小企業を支援しています。通信、航空、医薬品、デジタル化などの分野における当行の投資は、対象プロジェクトに民間部門からの追加投資を呼び込むお墨付きとなっています。EIBグループは、欧州企業が最先端技術を創造し発展させることを可能とします。

EIBの融資で、大学は研究施設を建設・拡張し、スタートアップ企業はスタッフを増員し設備を改善します。また、EIBの支援により、最先端のアイデアがビジネスの成功につながっています。



EIBは西バルカン地域の小企業向け融資でトップの貸し手です。3万社に近い企業を支援し、50万人の雇用を維持しています。この取り組みの結果、セルビアの1,800校を超える学校で、高速インターネット接続と、性能の良いデジタル機器の設置が可能となり、パンデミックで学校に来られない生徒に教師が遠隔授業を行えるようになりました。

インクルージョン

EIBは、小企業や若者に力を与えるとともに、女性起業家が融資や指導を受けられるように支援しています。当行は、低所得者、自営業者、零細企業が、プロジェクトを確実に成功させるために資金調達を行い、ビジネス上の助言を受けられるようにします。

ただし、プロジェクト費用の半分を超える融資は通常行いません。EIBの関与は、民間部門がプロジェクトにより深く入り込み、投資を増額するきっかけとなることが目的です。





サステナビリティ

EIBは国際資本市場で債券を発行して資金を調達しています。優れた信用格付けのおかげで、当行は好条件で資金調達が可能であり、その利益は顧客に還元されます。

EIBの資本市場専門家は、グリーンボンドとサステナビリティボンドの市場を創り出し、発展させました。当行は、国際機関としては最大のグリーンボンド発行体であり、それにより再生可能エネルギー、エネルギー効率、清潔な水、公衆衛生を支援しています。



Orange Money

RECHARGE 5.000 F

TRANSFERT DE CREDIT
100 F

RECHARGE 100 F

W150W

RECHARGE 100 F





コンゴの小企業はコロナ禍にあって、金利が非常に高いインフォーマルな金融からではなく、適正な金利でEIBから融資を受けました。その結果、対象企業と地域社会双方の支援につながりました。

EIBグローバル

EIBの開発部門であるEIBグローバルは、当行の開発金融の効果を高めるために2022年に設立されました。EIBは過去約10年間（2012～22年）にEU域外に700億ユーロ強を投資し、民間部門から毎年何十億ユーロもの投資資金を呼び込んでいます。EIBグローバルは、ローカル化を進めるなかで世界各地の地域社会、企業、団体に働きかけ、EIBの影響力を拡大しています。

EIBは、住民が銀行を利用できないことが多い地域において、現地のマイクロファイナンス団体への支援拡大を計画しています。人々が融資を得られれば、企業はより多くの労働者を雇用し、女性は自立し、避難民は減り、家計は貧困から抜け出せます。

そこで当行は、知識と経験を現地パートナーと共有し、EIBが各分野について持っている専門知識を、現地レベルでより利用しやすくします。また、数多くの国や分野での活動経験をもとに、独自の助言を行っています。こうした助言サービスは、EIBの金融商品に付随して提供されることも、資金提供とは別に単独で行われることもあります。



気候変動、コロナ禍、その他の危機に対応するためには、世界中のパートナー銀行とともに当行が投資した何十億ユーロもの資金を、新たなパートナーシップの構築や他のグローバルな金融機関との継続的な協働により、何兆ユーロもの規模に変える必要があります。最も重要なことは、EIBが関与することで民間部門の関与を促し、それにより新たな投資を呼び込むことです。

開発途上国だけでも、国連の持続可能な開発目標と、気候変動に対処するパリ協定の野心的目標を達成するためには、年間2兆ユーロを超える追加投資が必要です。

気候変動に対応するEUの銀行として、EIBは欧州グリーン・ディールを支援しています。これは、EUの気候変動、エネルギー、運輸、税制に関する政策を通じて、2030年までに温室効果ガスの排出量を、1990年の水準と比較して少なくとも55%は確実に削減する詳細な計画です。しかし、EUの排出量は世界全体のわずか10%にしか過ぎないため、EIBグローバルはEUの脱炭素化の取り組みをEU域外に拡大し、グローバル・グリーン・ディールを支援します。

デジタル化、気候変動、運輸、保健、エネルギー、教育の各分野において、グローバルおよび地域の接続性を改善するプロジェクトを支援する3,000億ユーロ規模の「グローバル・ゲートウェイ」プログラムにおいて、EIBグローバルは欧州委員会と重要な協力関係にあります。開発融資と金融パートナーシップは成長を加速させ、農村地域をより豊かに、都市部をより革新的に、そして経済を強くします。

EIBグローバルの活動は、女性主導のビジネスに関与することでジェンダー平等を推進し、職場における女性のエンパワーメントを図ろうとする国を支援しています。また、清潔な水、電気、ワクチン、良質な医療、適切な廃棄物処理システムを利用できない何百万人もの人を支援しています。





当行のコミットメント

欧州投資銀行は、EU市民に対し説明責任を負います。当行は、気候と環境の持続可能性、イノベーションとスキル、インフラ、中小企業、結束と発展などの、EUの優先事項と目的を推進するプロジェクトを支援しています。EIBは、エネルギー、運輸、製造業、農業などいずれの分野であっても、支援するプロジェクトが確実にパリ協定の目標に沿ったものとなるように努めています。当行のスタッフは、世界各国の現地の専門家、団体、政府とともに日々業務を行う、エコノミスト、エンジニア、金融アナリスト、気候変動専門家などで構成されています。



EIBグループは、欧州投資銀行 (EIB) と欧州投資基金 (EIF) で構成されています。

EIBは欧州連合の銀行です。国際機関として世界最大の借り手であり貸し手です。ルクセンブルクに本部を置き、欧州およびその他の地域に、現地事務所および地域事務所の大規模なネットワークを有しています。

EIFは、欧州ならびに欧州域外の数多くの国々で、小企業による金融へのアクセスの改善を支援しています。EIFは、イノベーションと雇用を促進するために、ベンチャー・キャピタルやグロース・キャピタル、保証、マイクロファイナンスの手法を設計および開発しています。

EIBグローバルは、EIBの国際開発部門です。2022年に設立されたEIBグローバルは、世界中で開発、気候変動対策、イノベーション、持続可能性に資金を提供するという、EIBの長年にわたる取り組みを継続しています。